

2〔知識及び技能〕の内容

(1)	言葉の働き 話し言葉と書き言葉 漢字 語彙 文や文章 言葉遣い 表現の技法 → 敬語 音読、朗読
(2)	情報と情報との関係 情報の整理
(3)	伝統的な言語文化 言葉の由来や変化 書写 読書

3〔思考力、判断力、表現力等〕の内容

「A話すこと・聞くこと」

話すこと	ア	話題の設定 情報の収集 内容の検討
	イ	構成の検討 考えの形成
	ウ	表現 共有
聞くこと	ア	話題の設定 情報の収集
	エ	構造と内容の把握 精査・解釈 考えの形成
		共有
話し合うこと	ア	話題の設定 情報の収集 内容の検討
	オ	話し合いの進め方の検討 考えの形成
		共有

①「お世話になった地域の方にお礼状を書こう」

敬語は「言葉遣い」に当たります。3、4年生で「敬体と常体」について学習しているので、6年生では、系統性を意識して敬語と併せて復習できますね。

初めに、「なぜ敬語を使うのか」を、児童に確認してからお礼状を書くことで、相手や場面に応じて敬語を使うことが意識できますね。

「B書くこと」

※第5・6学年はウ・エ「考えの形成、記述」オ「推敲」カ「共有」

ア	題材の設定 情報の収集 内容の検討	
	イ	構成の検討 考えの形成
	ウ	記述
エ	推敲	
オ	共有	

②「3年生で、がんばったことを発表しよう」

発表の時にさせたい、「聞き手に分かりやすい工夫」は、内容の工夫と表現の工夫が考えられます。内容の工夫には、話すことの「情報の収集」や「構成の検討」があります。学習指導要領の解説に、3、4年生では「事例を挙げながら」とあるので、具体的な場面を入れるとよいですね。

表現について、3、4年生では「言葉の抑揚、強弱、間の取り方などを工夫すること」となっています。聞き手に分かりやすい工夫を、具体的に子ども達にイメージさせたいですね。

「C読むこと」

ア	構造と内容の把握(説明的な文章)
イ	構造と内容の把握(文学的な文章)
ウ	精査・解釈(説明的な文章)
エ	精査・解釈(文学的な文章)
オ	考えの形成
カ	共有